

新年を迎えて



青森県農業共済組合連合会
会長理事 天坂 司

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、謹んでNOSA I関係者の皆様方に新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内では熊本県や鳥取県で大規模な地震災害が発生し、8月中旬には北海道へ1週間で3つの台風が上陸、8月下旬に発生した台風10号は観測史上初めて太平洋側から東北地方に上陸するなど各地で甚大な被害が発生しました。一方、県内では4月中旬の強風で県内全域の園芸施設に大きな被害が発生し、8月から9月にかけては相次いで発生した台風の影響により、県内各地の農作物や果樹、園芸施設に大きな被害が発生した年となりました。

被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、これからもNOSA Iは、農業災害対策の柱として農家経営の安定と地域農業の発展に大いに貢献して参りたいと思っております。

さて、農業・NOSA Iを取り巻く情勢は大きく変動しようとしています。政府は昨年11月に新たな農業改革方針「農業競争力強化プログラム」を正式に決定し、「農林水産業

・地域の活力創造プラン」に組み込まれました。その中で、新たに導入する収入保険制度の実施主体には、農業共済団体が新たに設立する全国組織を念頭において法案の準備を進めること、NOSA I制度については農業者へのサービスの向上及び効率的な事業執行による農業者の負担軽減の観点から、これまでの課題を見直し将来も安定的に制度を運営していくことになりました。

収入保険制度の実施主体は徹底した守秘義務が求められることから、コンプライアンス態勢の更なる強化を図るとともに、見直しされるNOSA I制度に速やかに対応できるよう、組織力を向上させなければなりません。

平成29年度はNOSA I制度発足70周年を迎えるとともに、「信頼のきずな」未来につなげる運動の最終年次となることから、運動の行動スローガン「さらなるフィールド活動へ」の定着を念頭に、農家・組合員との対話を一層強化し、信頼されるNOSA Iの確立に向け役職員一丸となって取り組む所存ですので、本年もNOSA Iへの変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます、新年の御挨拶といたします。

